

Search condition:  
Phenotype=poor metabolizer & PPI prescribed

30 patients, in 2.88sec.

Other Genome information of the selected patient

項目名称	項目内容
Gene Code	273
MDR1 C3435T	C/T
MDR1 3435 T/T or not	C/C or C/T
MDR1 3435 T carrier or not	C/T or T/T
m1	m1/ml
m2	wt
m1&m2	m1000
Phenotype	PM

## 「厚生労働省電子的情報交換推進事業」 (SS-MIX : Standardized Structured Medical Information eXchange)

### ⌘ 無償提供されるもの

#### ☑ 標準ストレージソフト

☑ 患者基本、処方、注射、検査結果、病名登録

#### ☑ CD作成ソフト

☑ 電子紹介状、患者への情報提供

#### ☑ アーカイブビューア

☑ 紹介状や画像CD連携部で受け取り、院内ネットで医師が見える

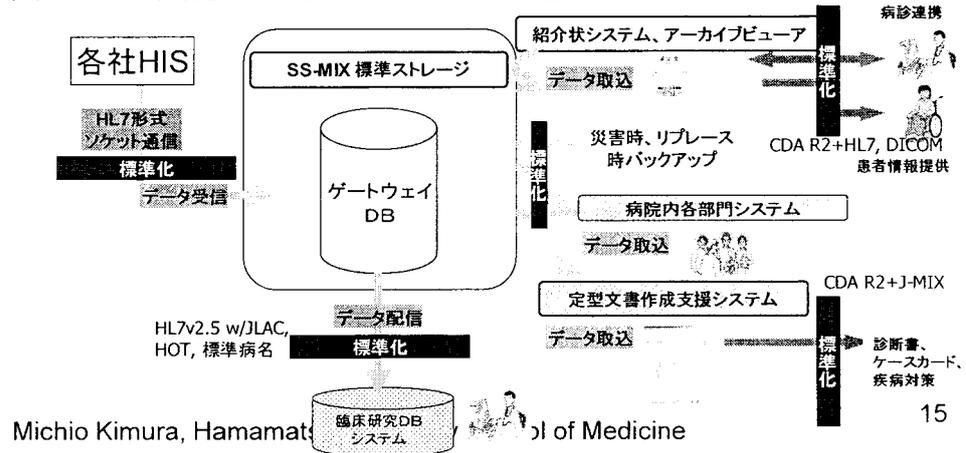
### ⌘ 有償のもの

#### ☑ ハードウェア、インストール・接続作業

# 現在、標準機能としてHL7 v2.5でデータを出せるHIS機種

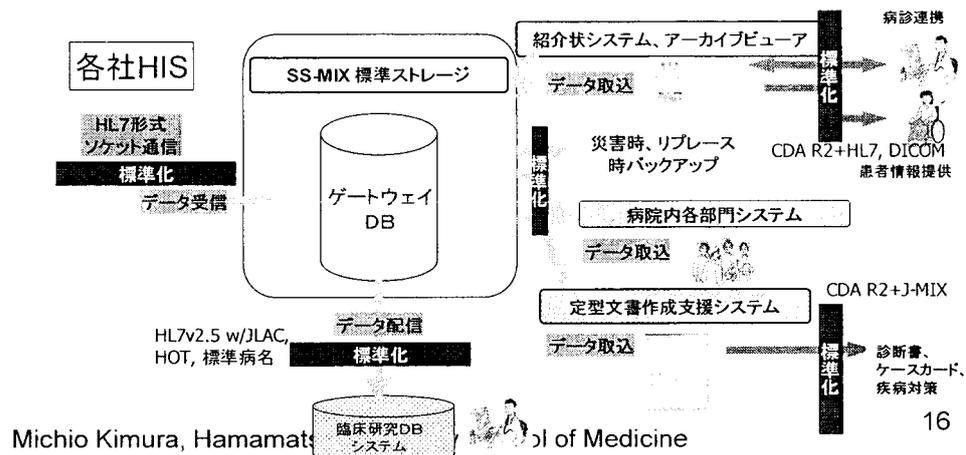
- ☐ 富士通: FX(定期バージョンアップで対応), GX
- ☐ NEC: 電子カルテ: HR, オーダ: AD v.4 以降
- ☐ SBS: Doctor-X, PrimeKARTE
- ☐ ソフトウェアサービス: e-Karte

- ⌘ これらは2006年以降に出荷されており大中病院では、すでに50%以上がSS-MIXに簡単に接続できる
- ⌘ 世界的に非常に高い、大病院でのオーダシステム普及率: 日本(80%)、アメリカ(15%)



## SS-MIX普及状況

- ⌘ 標準ストレージでデータをためている施設: 20
  - ☐ 各種文書システム(保険会社への診断書システム)の普及による
- ⌘ 臨床情報検索システムを持つ病院: 静岡に5病院
  - ☐ 5病院で臨床データパネルとしてPMDAの「HISからの安全性情報抽出」事業の対象



# 市民の、医療情報の扱いに関する意識調査

## ⌘ 調査対象者

☐ 静岡県在住の一般生活者、男女20～69歳（電話帳記載世帯の居住者）

## ⌘ サンプル数:2000件郵送

## ⌘ 抽出方法

☐ 電話帳から無作為に抽出、世帯の中で該当年齢者のうち、もっとも近くに誕生日を迎える人に回答依頼

## ⌘ 調査期間:2006年10月16～31日

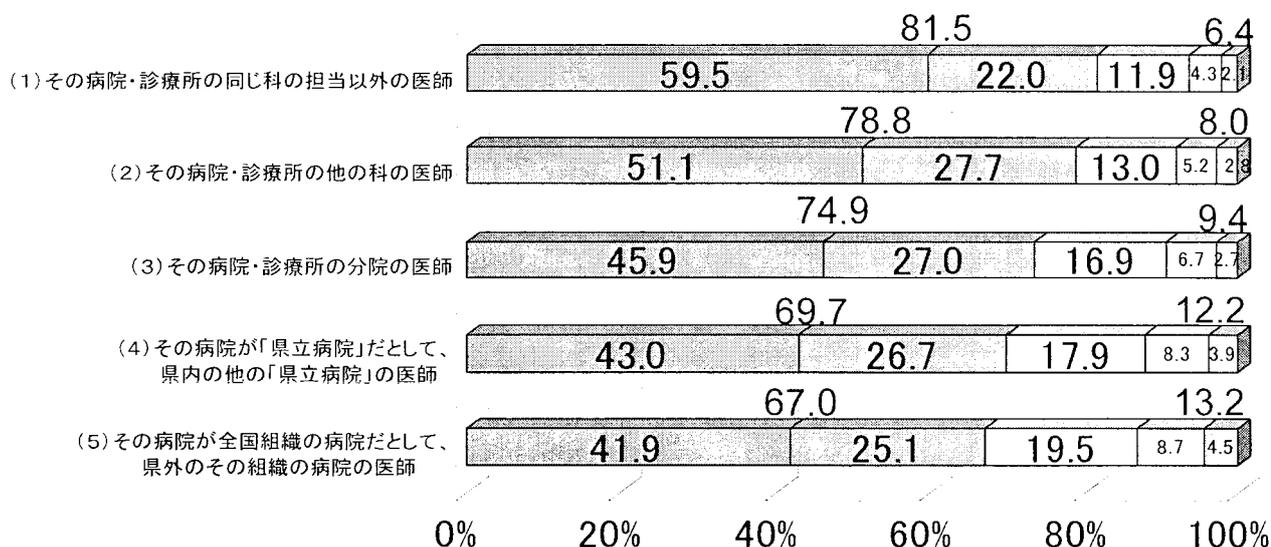
## ⌘ 有効回答数:510件(有効回答率25.5%)

## ⌘ 調査主体:浜松医科大学医療情報部

## ⌘ 調査実施機関:(株)トムス

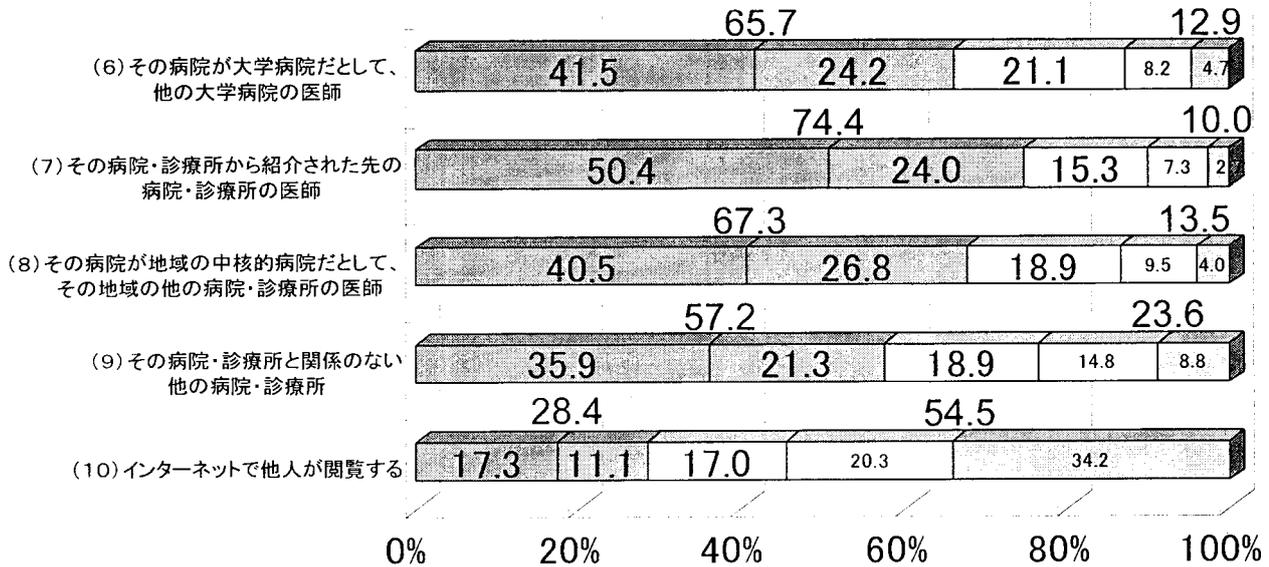
Q5 あなたが、ある病院または診療所にかかったとします。新しい治療法や薬を見つけるために、あなたの「カルテ情報」が、あなたの承諾なしに、あなたご自身を特定できない形で、以下の機関に開示されることについて、あなたはどのように思われますか。次にあげる機関別にお答えください。(各○は1つずつ)

☐ 問題ではない ☐ どちらかという問題ではない ☐ どちらともいえない ☐ どちらかという問題である ☐ 大いに問題である



Q5. あなたが、ある病院または診療所にかかったとします。新しい治療法や薬を見つけるために、あなたの「カルテ情報」が、あなたの承諾なしに、あなたご自身を特定できない形で、以下の機関に開示されることについて、あなたはどのように思われますか。次にあげる機関別にお答えください。(各〇は1 つずつ)

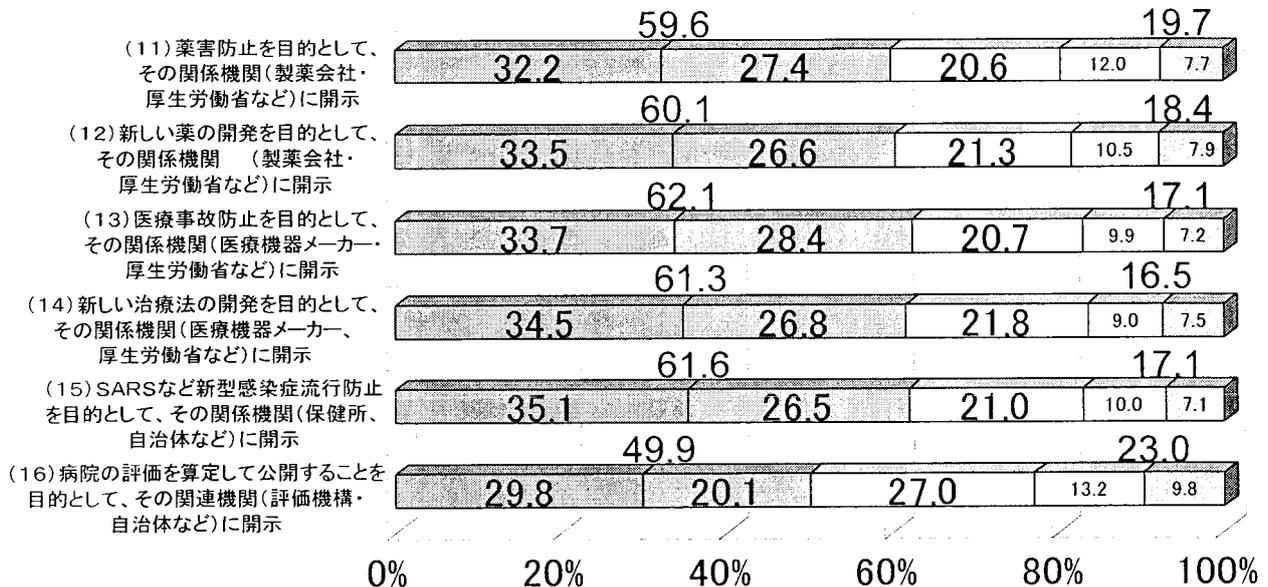
□ 問題ではない □ どちらかという問題ではない □ どちらともいえない □ どちらかという問題である □ 大いに問題である



Michio Kimura, Hamamatsu University School of Medicine

Q5. あなたが、ある病院または診療所にかかったとします。新しい治療法や薬を見つけるために、あなたの「カルテ情報」が、あなたの承諾なしに、あなたご自身を特定できない形で、以下の機関に開示されることについて、あなたはどのように思われますか。次にあげる機関別にお答えください。(各〇は1 つずつ)

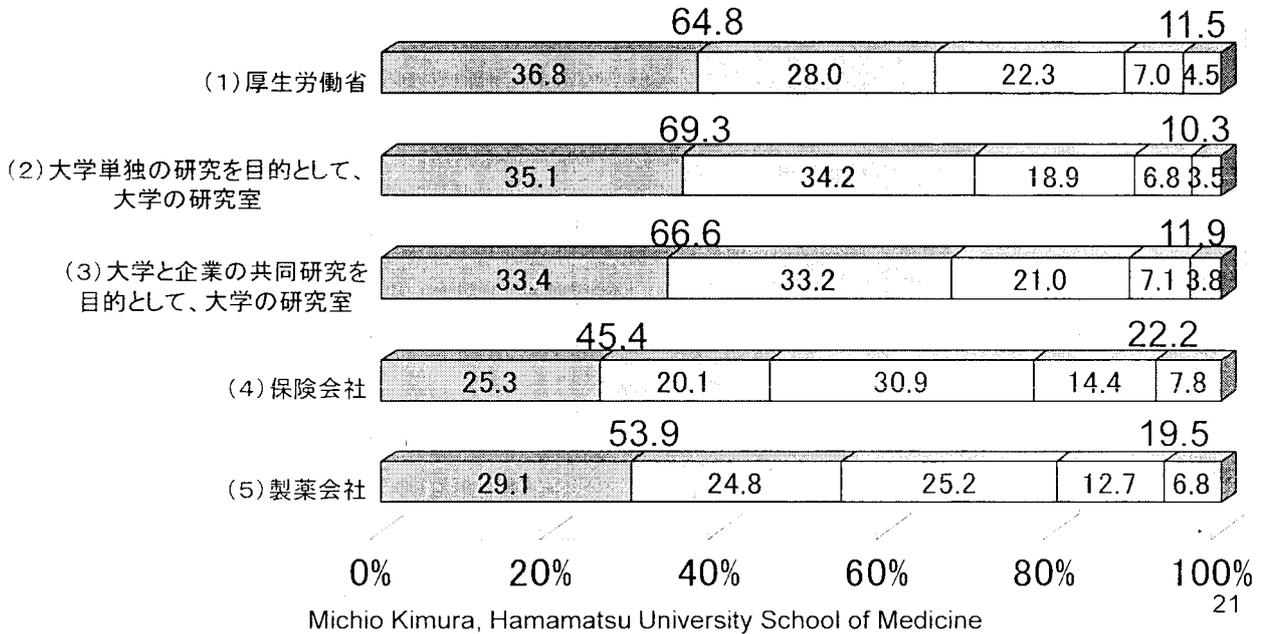
□ 問題ではない □ どちらかという問題ではない □ どちらともいえない □ どちらかという問題である □ 大いに問題である



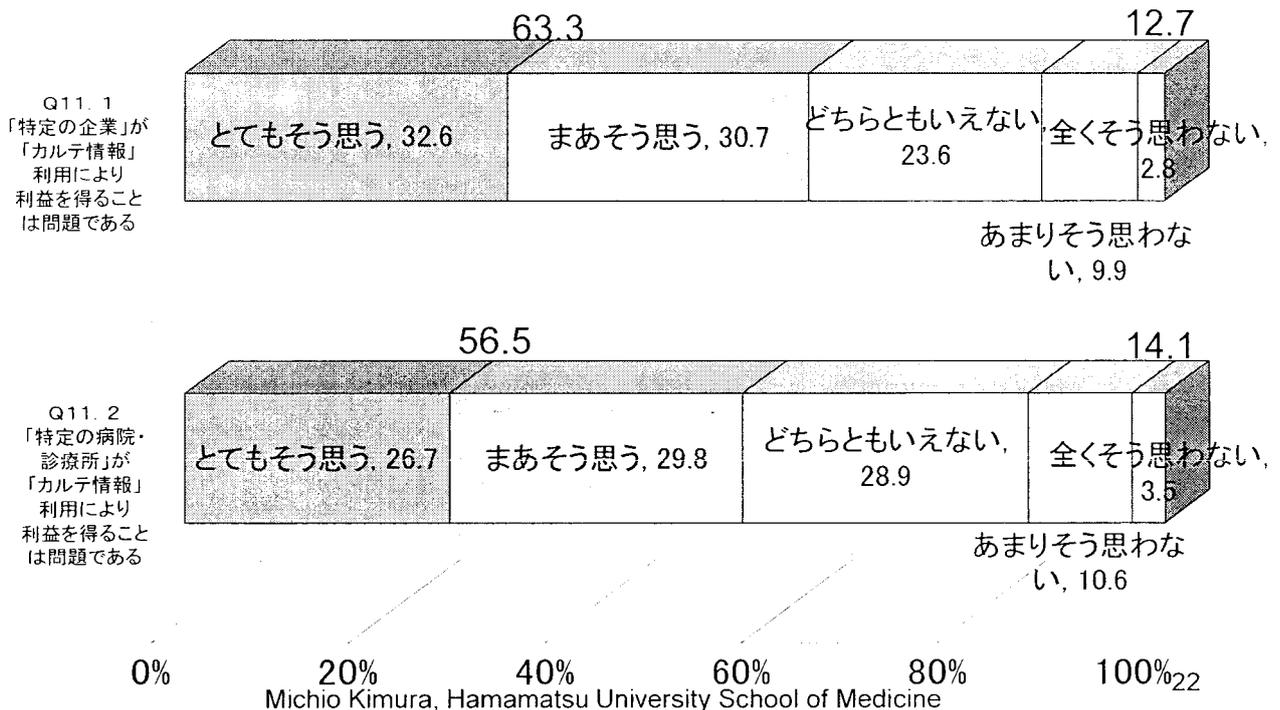
Michio Kimura, Hamamatsu University School of Medicine

Q7. あなたが、何らかの病気にかかったとします。あなたの「病名」が、あなたご自身を特定できない形で、医療機関(病院・診療所)以外の以下の機関に開示されることについて、あなたはどのように思われますか。  
次にあげる機関別にお答えください。(各〇は1つずつ)

□問題ではない □どちらかという問題ではない □どちらともいえない □どちらかという問題である □大いに問題である



Q11. では、次にあげるそれぞれのことについて、あなたのお考えとして最もあてはまるものを、それぞれ1つずつお答えください。  
※ただし、ここで言う「カルテ情報」は、個人が特定できない形のものを想定してください。



# 昨年静岡県民に行った、医療情報の扱いに関するアンケートをアメリカ国民相手に実施

⌘ 質問は全く同じ

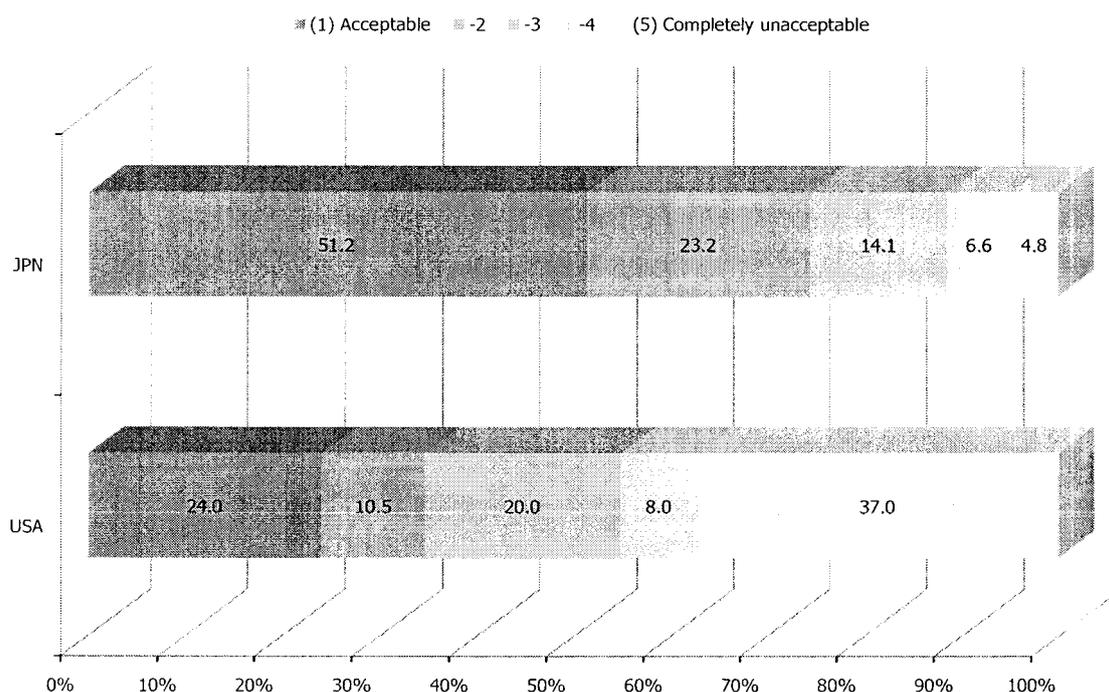
⌘ 有効回答200件（調査会社回答者パネル対象）

⌘ 業務委託：シードプランニング

Michio Kimura, Hamamatsu University School of Medicine

23

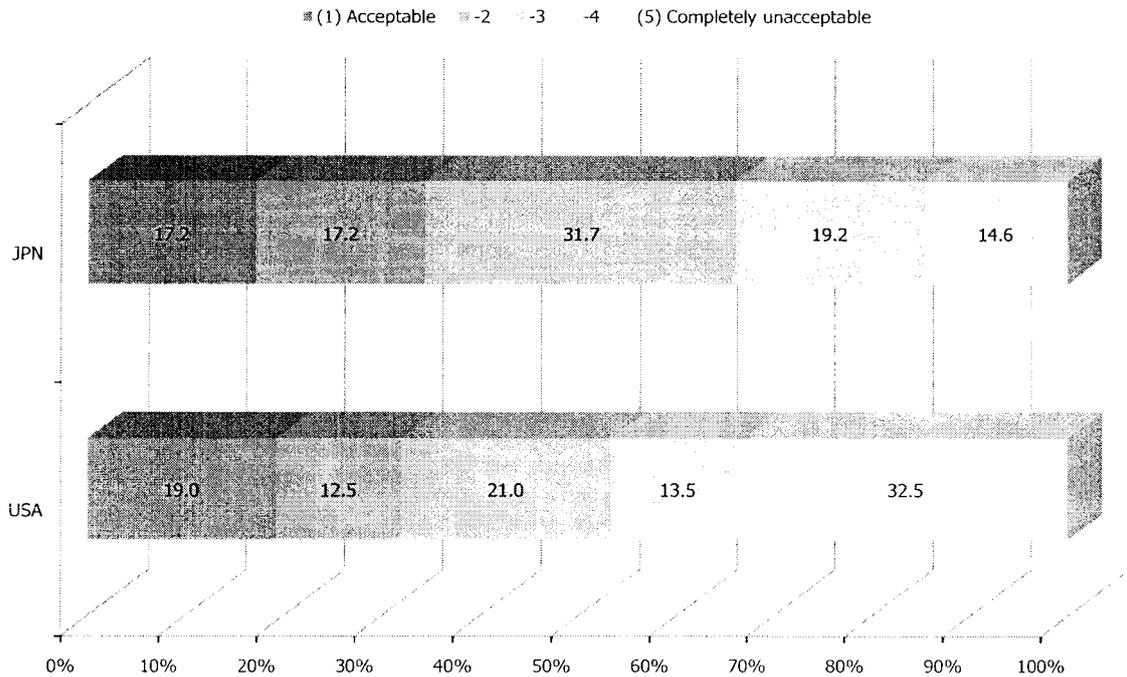
あなたのカルテを、あなたのものとわかる形で、いつも受診している病院の、他の科の先生が見る



Michio Kimura, M.D., Ph.D., Hamamatsu University School of Medicine

24

# あなたのカルテを、あなたのものとわかる形で、いつも受診している病院の地域の中核病院の医師が見る

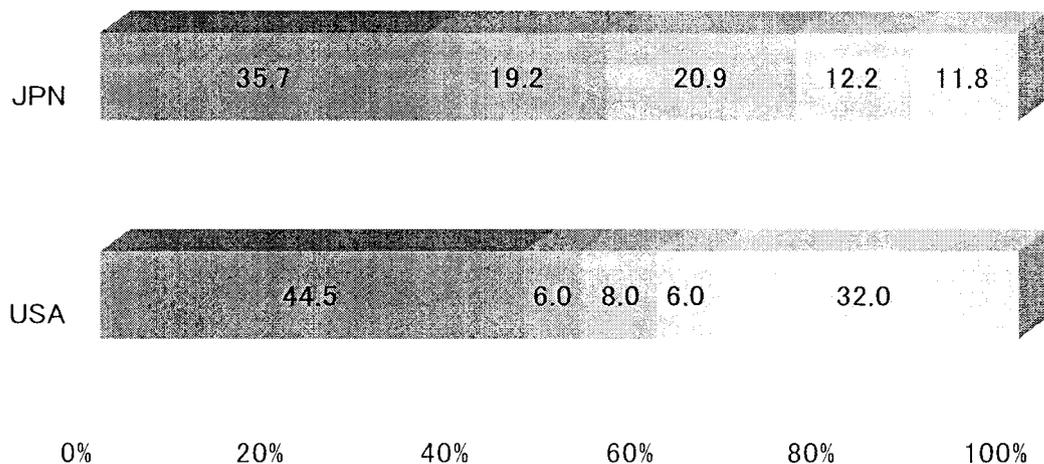


Michio Kimura, M.D., Ph.D., Hamamatsu University, School of Medicine

25

## (q4\_10 - 1) Only you would view your medical records on the Internet.

■ (1) Acceptable ■ -2 ■ -3 ■ -4 ■ (5) Completely unacceptable ■ (6) Don't know



Michio Kimura, Hamamatsu University School of Medicine

26